

小学校 中 学年<4-(1)>

| | | | | | | | |
|-------|--|----|-----------------------------|----|-------|----|----------------------|
| 学年 | 4年 | 時間 | 社会科「くらしを守る」 1 火事からくらしを守る | 時期 | 4月～5月 | 時数 | 3時間 第7・8・9時／全10時間 |
| 単元目標 | <ul style="list-style-type: none"> 消防署で働く人の仕事の工夫や努力を知るとともに、火事が起きたときの関係諸機関の緊急事態に備えた連絡・活動の仕組みを理解することができる。 身近なまちの火災に対する備えを知ることにより、安全なくらしへの関心を高めることができる。 | | | | | | |
| 資料・準備 | 調査カード、校区の白地図、デジタルカメラ、消防施設の写真、シール、校区の人へ協力依頼 | | | | | | |

学習の流れ(第7・8・9時) → 連続の時間(同一日)が望ましい

| | 学習活動と内容 主な発問・指示(◇) | 指導上の留意点 支援(○) | | | | | | | |
|---------------------|---|---|--------|----------------|---------|----------|---------------------|-----------------|---|
| 導入 | <p>1 学校のまわりにも、火事に備えた消防施設があることを思い出し、探検に行く計画を立てる。</p> <p>◇わたしたちの学校のまわりで消防施設がどこにあるか知っていますか。</p> <p>◇グループになって、消防施設等の防災施設がどこにあるか調べに出かけましょう。調査をするにあたって注意することをみんなで確認しましょう。</p> | <p>○前学年までの地域探検で見たことや知っていることについて思い起こさせ、発表させる。</p> <p>○大きく居住区域でグループわけ(1グループ7～8人程度)をし、注意事項の確認とグループ内の役割を決める。 (班長、記録係、撮影係、測定係、安全管理係)</p> | | | | | | | |
| 展開 | <p>2 学校の近くの消防施設等を全員で1つ調べてから各区域をグループで調べる。(防災の視点)</p> <p>◇「防災まち探検」(災害発生をイメージ)に出発しましょう。班で協力しあって調べましょう。</p> <p><しるしの例></p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>▲ ひなん場所案内板</td></tr> <tr><td>○ 消火せん</td></tr> <tr><td>● ホースかくのう箱、消火器</td></tr> <tr><td>★ 防火水そう</td></tr> <tr><td>■ 危険なところ</td></tr> <tr><td>□ 一時避難場所(広い場所)、公共施設</td></tr> <tr><td>× 道路幅測定で3m未満の道路</td></tr> </table> <p>3 グループで調べたことを防災マップに表す。</p> <p>◇防災マップを完成させましょう。</p> | ▲ ひなん場所案内板 | ○ 消火せん | ● ホースかくのう箱、消火器 | ★ 防火水そう | ■ 危険なところ | □ 一時避難場所(広い場所)、公共施設 | × 道路幅測定で3m未満の道路 | <p>○級外等の先生に応援をしてもらう。</p> <p>○近くの交番や地域の方々、見守り隊の方々に前もって応援を頼んでおくとよい。</p> <p>○カードと白地図に記録させる。</p> <p>○災害が発生したことをイメージして地震が起きたらこのブロック塀や自動販売機は倒れそうだとか、災害が起きたときに役立つというものなどを自分たちの目線で探させる。</p> <p>○消防車両で、ポンプ車は3mの道幅で通行可能</p> <p>○きまりを守り、事故のないように調査させる。</p> <p>○模造紙の中央部分に白地図を貼り、地図の周りに撮影してきた写真を貼りその説明文を書く。</p> <p>○発見したことを、地図上の発見場所に決めておいた色つきシールや形シール等を貼り、その説明文を書く。3m未満の道路は黄色の色で塗る。</p> |
| ▲ ひなん場所案内板 | | | | | | | | | |
| ○ 消火せん | | | | | | | | | |
| ● ホースかくのう箱、消火器 | | | | | | | | | |
| ★ 防火水そう | | | | | | | | | |
| ■ 危険なところ | | | | | | | | | |
| □ 一時避難場所(広い場所)、公共施設 | | | | | | | | | |
| × 道路幅測定で3m未満の道路 | | | | | | | | | |
| まとめ | <p>4 気がついたこと等を班毎に発表する。</p> <p>◇気づいたことを中心に班毎に発表しましょう。</p> | <p>○それぞれの班に発表させ、地域の適当な所に、必ず消防施設があることを確認させる。</p> <p><次時へのつなぎとして話すこと></p> <p>○鳥取市は、1952年の鳥取大火からまちづくりの工夫をしてきたことなど話して聞かせる。 (他の市町村の場合も、過去の大火等にふれる)</p> | | | | | | | |

指導計画(参考)

- 第1・2時 「消防署見学と学習の計画を立てる。」
- 第3・4時 「消防署見学」
- 第5・6時 「消防署の工夫・働く人、119番通報、地域との協力についてまとめる」
- 第7～9時 「まちの消防施設等を探そう～防災探検まち歩き①～」(上記計画)
- 第10時 「地域の協力、自分たちにもできること」

| | |
|------------|-----------------------------|
| 関連する教科・領域等 | (学校行事) 避難訓練 |
| 協力団体 | 消防署、交番、見守り隊など地域の方々、地域の消防団、等 |

小学校 中 学年< 4 - (1) >

| | | | | | | | |
|--------|--|--------|-----------------------------|--------|-----------|--------|-----------------------------|
| 学 年 | 4年 | 時 間 | 社会科「くらしを守る」 1 火事からくらしを守る | 時 期 | 4月～ 5月 | 時 数 | 15分(第10時の最後に) 第10時/全10時間 |
| 目 標 | 地域社会の一員として安全な生活を送るために、自宅にいるときの火災の原因について考え、その原因をどうすればなくすことができるか考えることができる。 | | | | | | |
| 資料・準備 | ワークシート・解説資料 (参考 チャレンジ! 防災48) | | | | | | |

単元学習のまとめとして、自分の家の防災診断をする。

- 1 家で火災被害を出さないようにするには、どのようにしたらいいのか考える。
ワークシートに記入し、意見交換する。
- 2 出た意見について、具体的に防ぐ方策を学習する。(教師やゲストティーチャーで解説しながら。)
- 3 「わたしの家の防災診断」をする。→ 家に持ち帰り、家族とも話しあう。

| | |
|------------------|--------------|
| 関 連 する 教科・領域等 | |
| 協 力 団 体 | 地域の自主防災組織等の方 |